

# 取扱説明書

32V型 ダブルチューナー搭載  
地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ



- ・この度は、お買上げ頂き、まことにありがとうございます。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(3~4ページ)を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに保管してください。
- ・保証書は「お買上げ日・販売店」等の記入を確かめ、大切に保管してください。
- ・この取扱説明書に載っている画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

保証書別添付

- 安全上のご注意
- 付属品
- スタンドの組み立て方
- 各部の説明
- リモコンの説明
- テレビを見るための準備
  - ・mini B-CASカードを挿入する
  - ・mini B-CASカードを抜くとき
  - ・アンテナの接続
  - ・かんたん設置設定
  - ・アンテナの方向調整と設定
- テレビを見る
  - ・放送の種類  ・基本操作
- 番組表を使う
  - ・番組表を見る
- インターネットを利用する
  - ・インターネットを利用するための接続をする
  - ・ネットワークを設定する
- データ放送を楽しむ
  - ・dデータを使う
- 録画・予約/再生
  - ・注意事項
  - ・USBハードディスクについて
  - ・直接録画と予約録画
  - ・録画の再生と削除
- 設定メニュー
  - ・メニューボタンで出来ること
- 機器設定
  - ・映像設定
  - ・音声設定
  - ・機器設定
- 外部機器と接続する
  - ・接続のしかた
- その他
  - ・その他の情報
- 故障かも・・・と思ったら
- アフターサービスとお問い合わせ
- 製品仕様

# もくじ

安全上のご注意	P3・4
付属品	P5
スタンドの組み立て方	P6
各部の説明	P7・8
リモコンの説明	P9・10
・miniB-CASカードを挿入する	P11
・miniB-CASカードを抜くとき	P12
テレビを見るための準備	P13
・アンテナの接続	P14・15
・かんたん設置設定	P16
・アンテナの方向調整と設定	
テレビを見る	P17
・放送の種類	
・基本操作	P18・19
番組表を使う	P20~21
インターネットを利用する	P22
・インターネットを利用するための接続をする	
・ネットワークを設定する	P23・24
データ放送を楽しむ	P25・26
・dデータを使う	
録画・予約/再生	P27
・注意事項	
・USB/ハードディスクについて	P27~29
・直接録画と予約録画	P30~33
・録画の再生と削除	P34~36
設定メニュー	P37~39
・メニューボタンで出来ること	
機器設定	P40・41
・映像設定	
・音声設定	P42
・機器設定	P43~46
外部機器と接続する	P47
・接続のしかた	
その他	P48
・その他の情報	
故障かも…と思ったら	P49~51
アフターサービスとお問い合わせ	P52
製品仕様	P53

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」、「注意」の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 絵記号の意味



この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例)「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例)「電源プラグを抜く」を表す絵表示

## 異常・故障時について



異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

- 内部に水・金属類・燃えやすいものなどが入った場合
- 煙や焦げる臭い、異常音などの異常が発生した場合
- 落したり、キャビネットを破損した場合
- 電源プラグ、コードに損傷や異常な熱を持つ場合
- 電源が入ったり切れたりする場合

## 本機の取り扱いについて



液晶ディスプレイは精密機器ですので、強い力や荷重、衝撃を加えないでください。  
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になります。

不安定な場所に置かないでください。  
倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。  
液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

異常に温度が高くなるところや、直射日光が当たる場所には置かないでください。  
火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。

湿気やほこりの多い所、油煙や、湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。  
火災・感電の原因になります。

本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

## 分解・改造について



本体、お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。  
内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

## 雷について



雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。  
感電の原因になります。

安全のため必ずお守りください

# 安全上のご注意

## 本機の取り扱いについて



付属のスタンドを使用し、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください。  
倒れたりしてけがの原因になることがあります。

アンテナ工事が必要な際は、販売店または専門業者にご相談ください。  
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

壁掛け設置工事は、販売店または専門業者にご相談ください。  
落下してけがの原因になることがあります。

あお向けや、横倒し、さかさまにして使用しないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔を設けて備え付けてください。また、通気孔をふさがないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

## お手入れについて



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。  
感電の原因になることがあります。

定期的に電源プラグのほこり掃除を行ってください。  
火災・故障の原因になることがあります。

定期的に通気孔等に付着したほこりやごみを取り除いてください。  
長期間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。  
電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

## 電池について



電池のアルカリ液がもれたときは素手で触らないでください。  
電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療をうけてください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造・ショートしないでください。  
電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。  
電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。  
電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

## 移動について



移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。  
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

## 守っていただきたいこと

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないよう注意して下さい。

ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因になります。

乳幼児やペットがいるお客様は、転倒・感電・火傷・誤飲などに十分ご注意ください。

搬送について…  
本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

電波妨害について…

本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起ります。映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器を影響のないところまで本機から離してください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください…  
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合…  
ご使用になる部屋（場所）の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。

# 付属品

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。

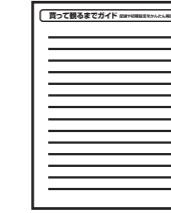


本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。  
万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買上げ店、  
または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

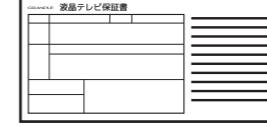
取扱説明書（本書）



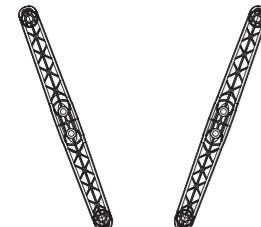
買って観るまでガイド



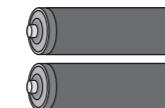
保証書



スタンド



リモコン用乾電池2本  
(単4形・動作確認用)



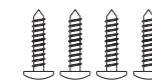
リモコン



mini B-CASカード



スタンド取付用ネジ



ネジ4本

AV入力アダプター



※イヤホン・ヘッドホン・DVDプレイヤー等の接続コード類、アンテナ接続用の

同軸ケーブル等は別途必要です。

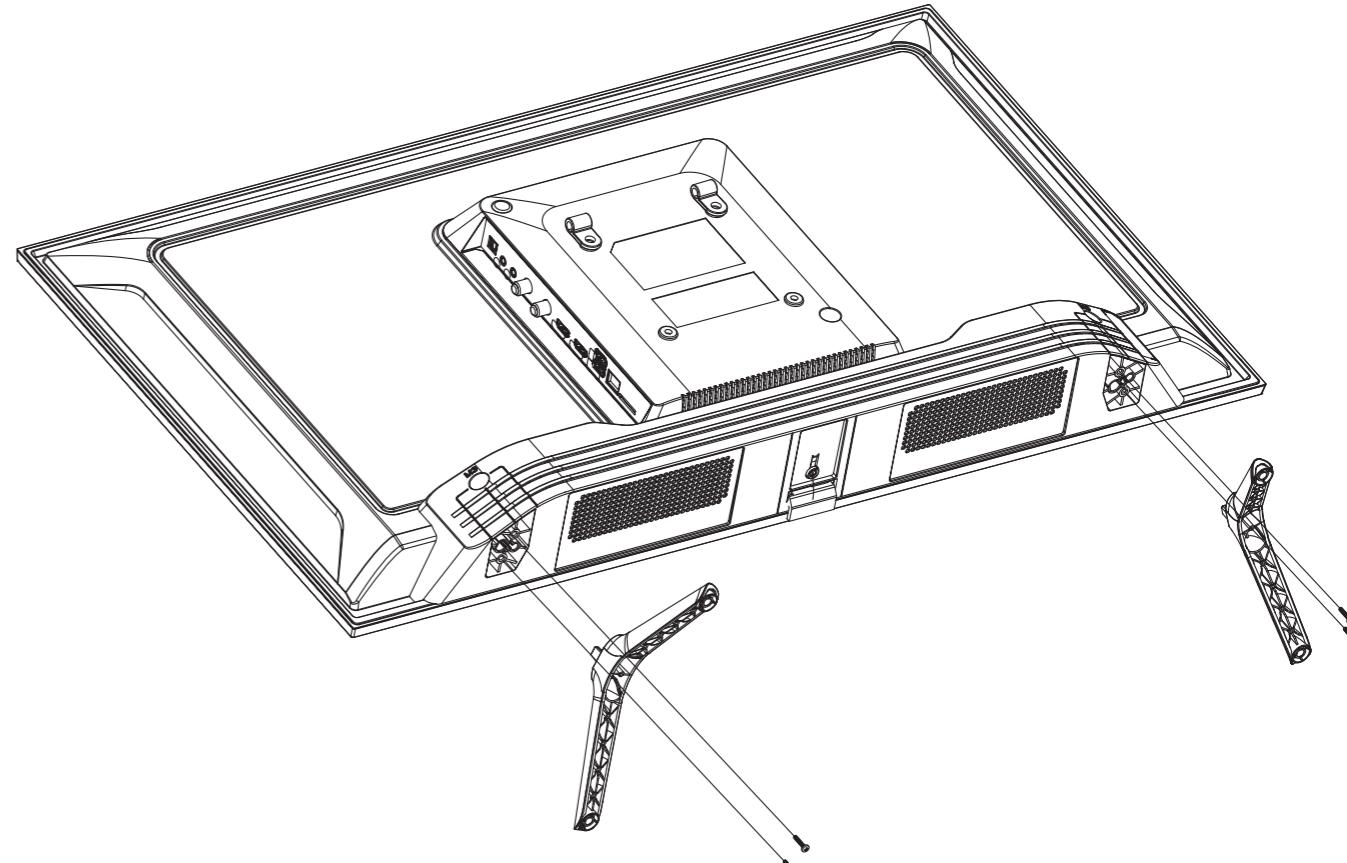
※乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

# スタンドの組み立て方

プラスドライバー（市販品）をご用意ください。

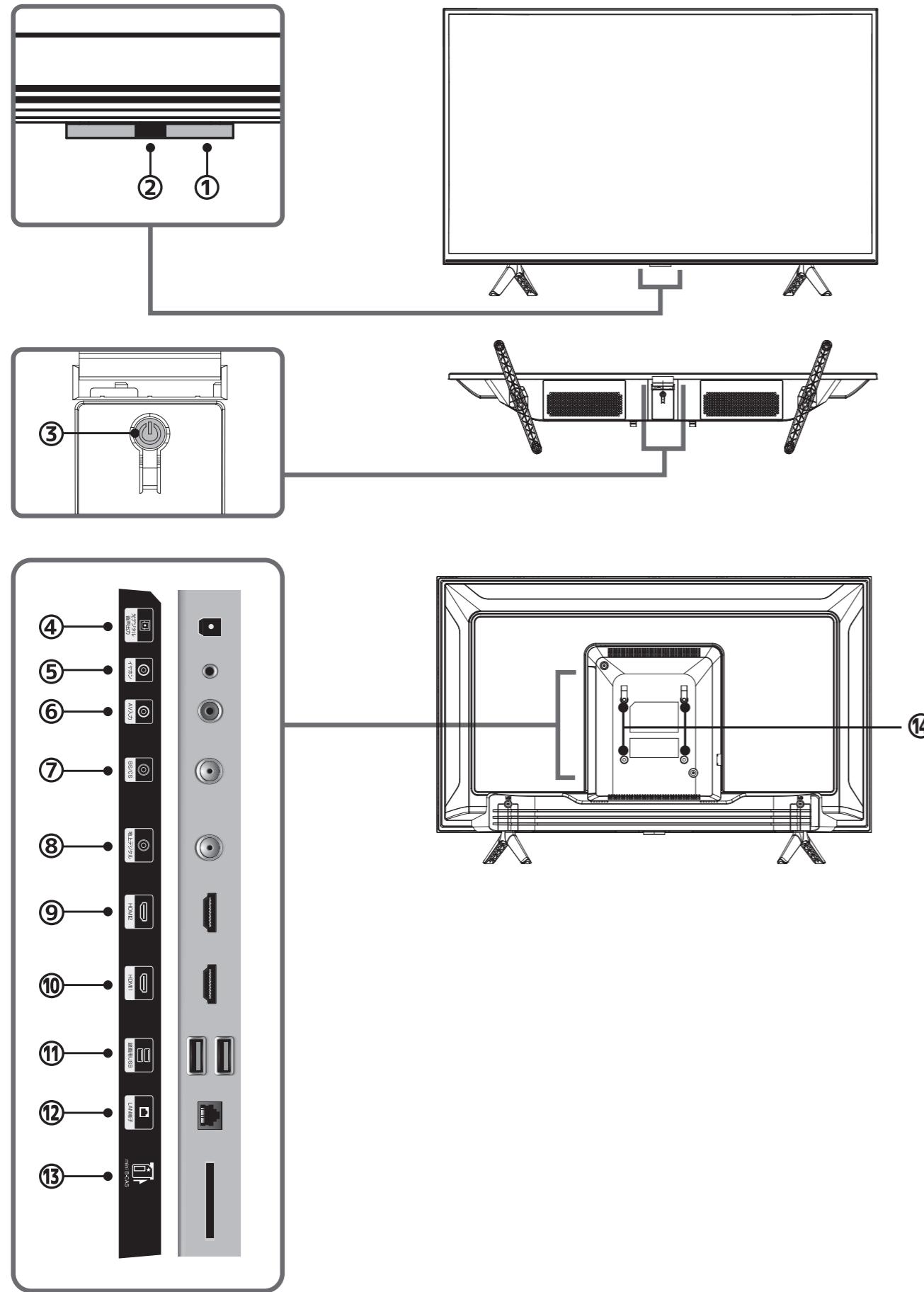
1. 本体にスタンドを取り付けます。
2. スタンド裏側から4箇所をネジでとめます。

※スタンドを組み立てる際は、毛布など厚手の柔らかい布を敷いた上で行ってください。  
※ネジは付属品です。  
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。



# 各部の説明

各部の説明



# 各部の説明

各部の説明

## ①リモコン受信部

リモコンの信号を受信する部分です。  
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。  
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

## ②電源表示ランプ

無 点 灯: 電源がオンのとき  
点 滅: 録画中のとき  
赤色点灯: スタンバイ状態

## ③ 電源

電源のオン/オフに使用します。

## ④光デジタル音声出力端子

AVアンプ(市販品)等に接続します。

## ⑤イヤホン出力端子

イヤホン/ヘッドホン(市販品)を接続します。

## ⑥AV入力端子

付属のAV入力アダプターを接続して使用します。

## ⑦BS/CSアンテナ入力端子

アンテナ線(市販品)で壁などのアンテナ端子と接続します。

## ⑧地デジアンテナ入力端子

アンテナ線(市販品)で壁などのアンテナ端子と接続します。

## ⑨HDMI 2入力端子

HDMIケーブル(市販品)を接続します。  
※ARCに対応しています。

## ⑩HDMI 1入力端子

HDMIケーブル(市販品)を接続します。

## ⑪録画専用USB×2

USBハードディスク(市販品)を接続します。

## ⑫有線LAN端子

有線LANケーブル(市販品)を接続します。

## ⑬mini B-CASカード挿入口

mini B-CASカードを挿入します。(☞11・12ページ)  
カードの向きにご注意ください。

## ⑭壁掛け金具取付用ネジ穴×4

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付ける  
ことができます。

●VESA規格

MIS-D 100,100,4

※壁掛け金具の取り付けは、必ず専門業者にご依頼ください。  
※専門業者以外の人が取り付けて、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や  
大けがの原因となることがあります。

# リモコンの説明

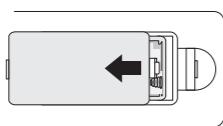
※リモコンは本体受信部から3メートル以内、上下左右30度内でご使用ください。

電源	電源	電源をオン/オフにします。
消音	消音	一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。
1 ~ 12	1 ~ 12	チャンネルを直接選ぶことができます。
番組説明	番組説明	視聴中の番組の内容を表示します。
予約リスト	予約リスト	予約リストの画面に切り替えます。
録画リスト	録画リスト	録画リストの画面に切り替えます。
青 赤 緑 黄	青・赤・緑・黄	設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。
地デジ	地デジボタン	地上デジタル放送への切り替えができます。
BS	BSボタン	BS放送への切り替えができます。
CS	CSボタン	CS放送への切り替えができます。
dデータ	dデータ	データ放送の画面に切り替えます。
音声切換	音声切換	※放送によっては音声言語が切り替えられない場合があります。 2カ国語放送や、音声多重放送受信時に音声言語を切り替えます。
字幕	字幕	受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。
画面サイズ	画面サイズ	画面の縦横比を切り替えます。
オフタイマー	オフタイマー	ボタンを押すごとに、自動的にテレビをスタンバイ状態にする時間を選択できます。 選択した時間が過ぎると、自動的にスタンバイ状態になります。

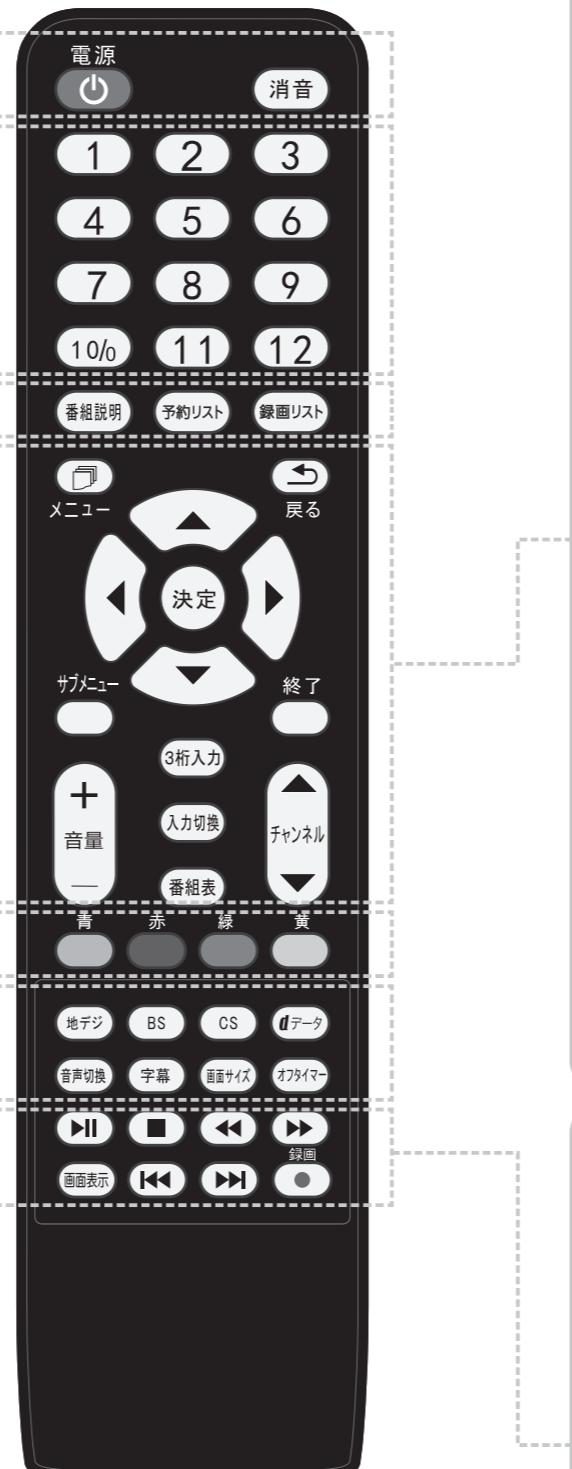
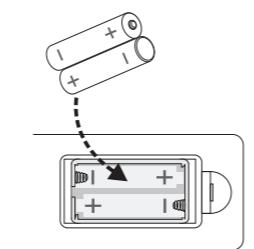
## 電池の入れ方

※リモコンには単4形乾電池2本が必要です。

1.リモコン背面の電池カバーを取り外してください。



2.電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。



# リモコンの説明

メニュー	メニュー	設定メニュー画面を表示します。
戻る	戻る	表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。
方向ボタン	方向ボタン	メニュー内でカーソルを動かしたり項目を選択します。
決定ボタン	決定	選択した項目を決定します。
サブメニュー	サブメニュー	サブメニュー画面を表示します。
終了	終了	設定メニュー、サブメニューを終了します。
3桁入力	3桁入力	チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択することができます。
入力切換	入力切換	テレビ放送の切替えや外部機器入力の切替えをします。
番組表	番組表	現在放送している番組から、それ以降に放送予定の番組一覧表が表示されます。
音量	音量	音量の調整に使用します。
チャンネル	チャンネル	チャンネルの切り替えに使用します。
再生/一時停止	再生/一時停止	録画データの再生/一時停止をします。
停止	停止	再生中の録画データの停止をします。
早戻し	早戻し	再生中の録画データの早戻しをします。
早送り	早送り	再生中の録画データの早送りをします。
画面表示	画面表示	現在の受信チャンネル情報を表示します。
前へ	前へ	前の録画データを再生します。
次へ	次へ	次の録画データを再生します。
録画	録画	録画を開始する時に押します。

# テレビを見るための準備

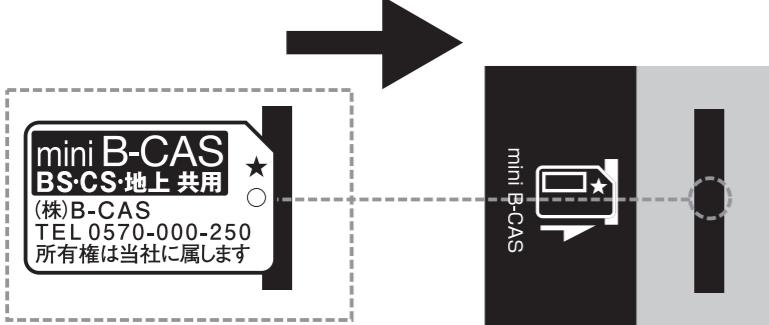
## miniB-CASカードを挿入する

### 1. mini B-CASカード台紙に記載の文面をよくお読みください。

※パッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

### 2. 内容に同意の上でmini B-CASカードを台紙から外します。

### 3. テレビ本体の電源がオフになっていることを確認し、mini B-CASカードを正しい向きで挿入口にしっかりと奥まで差し込んでください。



※mini B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。

※mini B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。

※mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。

※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

## mini B-CASカード

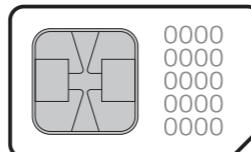


## mini B-CASカード台紙

表



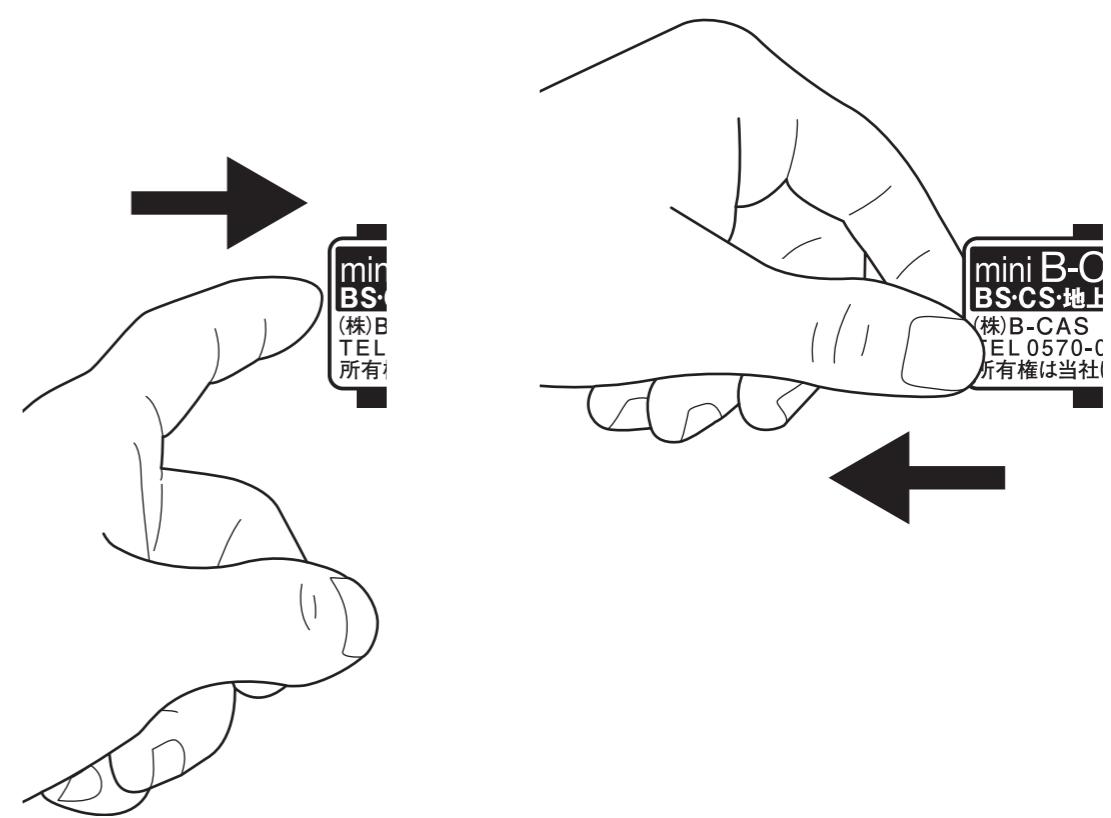
裏



# テレビを見るための準備

## miniB-CASカードを抜くとき

テレビ本体の電源をオフにして、mini B-CASカードを一度押してから、ゆっくりと抜いてください。



### mini B-CASカードの取り扱いについて

- mini B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- mini B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- 裏の端子面には触れないでください。
- 分解・加工はしないでください。
- 破損などによりmini B-CASカードの再発行を依頼する場合は費用が必要です。  
詳しくは、mini B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

### mini B-CASカードについてのお問い合わせ先

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL:0570-000-250 (2017年4月現在)

# テレビを見るための準備

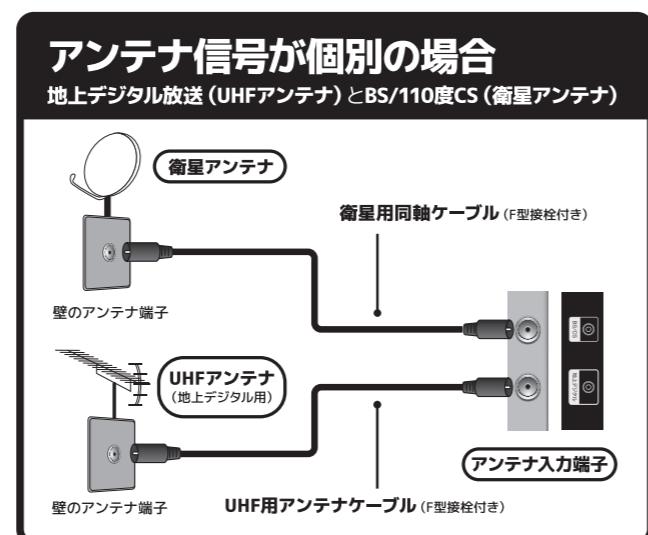
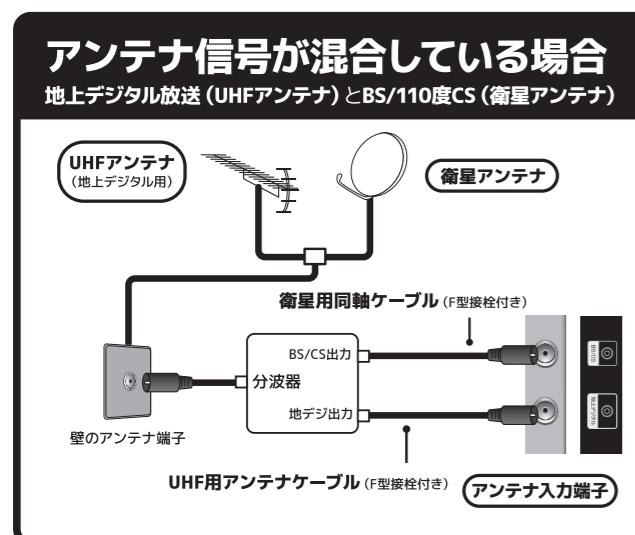
## アンテナの接続

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ(地上デジタル用)が必要です。
- BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。

※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

### 1. アンテナと本機をつなぎます。

アンテナ線で、壁などのアンテナ端子と本製品のアンテナ入力端子を接続します。



### 2. 電源プラグをコンセントに接続します。

### 3. 本機の電源を入れます。コンセントを繋ぎ本体の電源表示ランプの色を確認の上、下記の手順で電源を入れます。

電源表示ランプの色	電源の入れ方
赤色点灯の場合	電源ボタンを押して電源をオンにします。電源が入るとランプが消灯します。
無点灯の場合	電源がオンの状態です。

※アンテナ線は、工具などを使って締め付け過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。

※本製品にアンテナ線は付属していません。

※図は接続の略図です。実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。

※リモコンを使用する際は、リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。

※電源を入れてから画面が映るまでに数十秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

# テレビを見るための準備

## かんたん設置設定

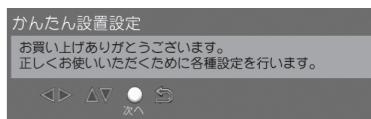
開封後、はじめて電源を入れた時、自動的にかんたん設定画面が表示されます。

### 1. 電源をつける

コンセントを差し込み、本体またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、本体下の電源ランプが消灯します。

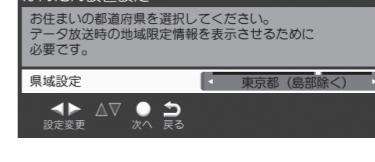
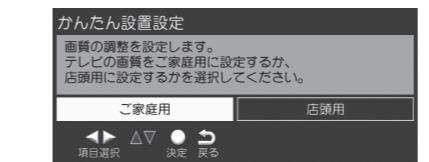
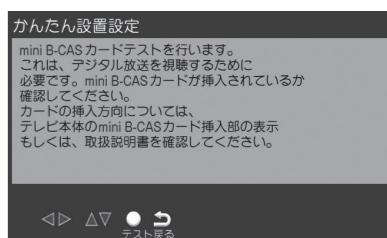
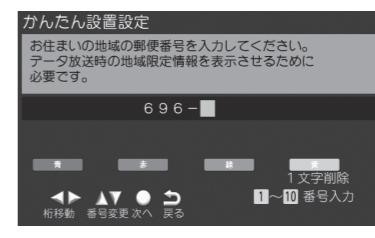
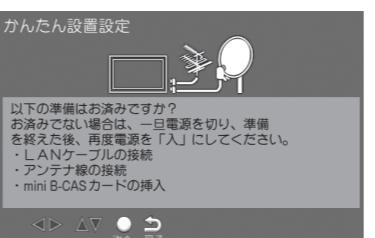
### 2. かんたん設置設定

かんたん設置設定の表示画面で『決定』ボタンを押すと、初期設定がはじまります。



### 3. 画面の指示にしたがい設定を行ってください。

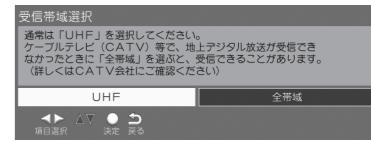
『▲/▼』『◀/▶』ボタンで選択し、『決定』ボタンで決定します。戻るボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。



「テストが正しく終了しました。……」と表示が出ましたら『決定』ボタンを押し、画面の指示にしたがい次に進んでください。

### 4. 受信帯域選択

通常はUHFを選択してください。受信設備がCATV等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できことがあります。（詳しくはCATV会社にご確認ください）



# テレビを見るための準備

## かんたん設置設定

### 5. チャンネル設定修正/アンテナレベル確認

チャンネルのスキャン終了後、修正/確認が無ければ次へを選択し、『決定』ボタンを押し、次に進んでください。チャンネルの設定を修正する場合は、P45ページのチャンネル設定を参照し修正してください。

### 6. 衛星アンテナ電源選択

画面の内容を確認し、指示にしたがい設定を行ってください。

### 7. 「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示が出たら『決定』ボタンを押し、かんたん設置設定を終了します。

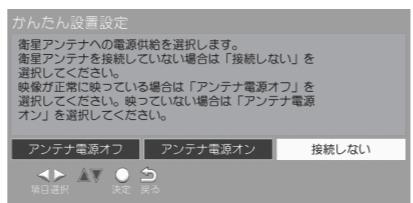
## 再度かんたん設置設定を行う場合

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押し、設定メニューを表示します。『▲/▼』ボタンで「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

2. 「機器設定」画面の「かんたん設定」を『▲/▼』ボタンで選び、『決定』ボタンを押して再設定をしてください。

本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ（地上デジタル用）が必要です。
  - BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
  - 衛星アンテナには電源供給が必要です。また、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器・分波器は、全端子電流通過型をご使用ください。
  - 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
  - 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダー等を接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へアンテナ線を接続してください。レコーダー等の接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。
- ※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。
- CATV（周波数変換 {VHF CATV:MID / SHB UHF}）パススルー対応



# テレビを見るための準備

## アンテナの方向調整と設定

### 地上デジタル放送の受信方法

#### ●屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混同アンテナになっているかを確認してください。  
詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

#### ●ケーブルテレビの場合

ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかを確認してください。伝送方式が不明な場合は、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

### 地上デジタル・BS・CS放送の受信強度の確認

(受信強度の確認方法はP16ページ)

#### ●50%未満の場合

電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。

#### ●50%以上でも映らない場合

アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか再度確認し、チャンネルの再設定をしてください。

### 地上デジタルアンテナレベル

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」→「設置設定」→「受信設定」を選びます。

2. 『▲/▼』ボタンで「地上」もしくは「衛星」を選択し、『決定』ボタンを押します。

※「地上」は地上デジタル放送、「衛星」は衛星デジタル放送のアンテナを調整します。

3. アンテナをゆっくり動かして「受信レベル」の数値が最大となるように調整します。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。



4. アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。

# テレビを見る

## 放送の種類

### <地上デジタル放送>

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

### <BSデジタル放送>

BSデジタル放送とは、放送衛星（Broadcasting Satellite）を使った、デジタル信号によるテレビやラジオの放送です。『WOWOW』『スター・チャンネル ハイビジョン』等の有料放送は加入申し込みと契約が必要ですが、視聴条件が無料のチャンネルは申し込み等は不要で、アンテナなどのセッティングが完了すれば視聴可能になります。NHK BS1、NHK BSプレミアムは視聴可能ですが、視聴契約をしないと画面上にメッセージが表示されます。(2018年12月現在)

### <110度CSデジタル放送>

110度CSデジタル放送とは、通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュースやスポーツ、映画、音楽等の専門チャンネルがあります。  
一部を除き有料で、受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。  
おもなサービスに『スカパー!』があり、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。  
『スカパー!』へは加入申し込みと契約が必要です。(2018年12月現在)

## お問合せ先

### WOWOW

公式HP : <http://www.wowow.co.jp/>

カスタマーセンター : 0120-580-807 (受付時間 9:00 ~ 20:00 年中無休)

### スター・チャンネル

公式HP : <http://www.star-ch.jp/>

カスタマーセンター : 0570-013-111 または、044-540-0809

(受付時間 10:00 ~ 18:00 年中無休)

### スカパー!

公式HP : <http://www.skyperfectv.co.jp/>

カスタマーセンター : 0120-211-855 (受付時間 10:00 ~ 20:00 年中無休)

# テレビを見る

## 基本操作

### 電源をつける

コンセントを差し込み、本体またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、本体下の電源ランプが消灯します。

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。  
画面が表示されるまでお待ちください。

### 電源を消す

もう一度電源ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

### チャンネルを変える

①数字ボタンで、見たいチャンネルを直接選択することができます。

※チャンネル表示は約5秒で消えます。

②リモコンのチャンネル『▲/▼』ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。

③『3桁入力』ボタンを押し、『数字』ボタンでチャンネルを選び、『決定』を押すと直接チャンネルを選局できます。

例) チャンネルの「023」を選局するときは、数字ボタン「10/0」⇒「2」⇒「3」を順に押します。

※ボタンは3秒以内に次のボタンを押してください。

※デジタル放送では3桁のチャンネル番号と枝番がある番組があります。必要に応じて枝番に(0~9)を入力してください。

### 音量を調整する

リモコンの『音量+/-』ボタンを押すと、音量を調整することができます。

### 消音する

リモコンの『消音』ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

### チャンネル情報を表示する

リモコンの『画面表示』ボタンを押すと、現在見ていているチャンネルの情報を表示することができます。しばらくすると番組名などの情報は消え、チャンネルだけの表になります。

10:00 工程検査（地上デジタルSD）  
10:30

地デジ 021  
2

表示を消すには、『画面表示』ボタンを押してください。

2 地デジ 021

### 入力切換

リモコンの『入力切換』ボタンを押すたびに「テレビ」⇒「HDMI1」⇒「HDMI2」⇒「ビデオ」の順で切り替わります。切り替えたい入力を選択後に『決定』ボタンを押します。

### 音声切換

リモコンの『音声切換』ボタンを押すたびに放送されている音声を切り替えます。

音声切換

日本語

※受信している放送によって音声表示が異なることがあります。

※音声多重放送を行っている時に切り換えることができます。

# テレビを見る

## 基本操作

### 字幕

リモコンの『字幕』ボタンを押すたびに字幕のオン・オフが切り換わります。

字幕      オフ

※字幕放送に対応している放送の番組でのみ利用することができます。

※映像自体に字幕が表示されている場合は「字幕オフ」に設定しても字幕が表示されます。

※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがあります、故障ではありません。

※受信している放送によって表示が異なる場合があります。

### オフタイマーを使う

リモコンの『オフタイマー』ボタンを押すたびに「オフ」→「30分後」→「60分後」→「90分後」の順で切り換わります。

オフタイマー      60分後

### オンタイマー

設定した時刻にテレビの電源が入り、設定した放送や入力、音量などで視聴ができます。

※デジタル放送、時刻情報を受信していない場合は、使用できません。

※オンタイマーが「入」になっていると設定の変更ができません。オンタイマーを「切」にしてから設定を行ってください。

※オンタイマーが「切」になっているとタイマーは動作しません。設定後は、オンタイマーを「入」にしてください。

①リモコンの『メニュー』ボタンを押し、設定メニューを表示します。

②『▲/▼』ボタンで「タイマー設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

③『▲/▼』ボタンで「オンタイマー」を選び、『決定』ボタンを押します。

④設定する項目を『▲/▼』ボタンで選び、『◀/▶』ボタンで内容を設定します。

設定項目	設定内容
オンタイマー	入,切
時刻	テレビの電源を入れる時刻を設定します。
音量	電源が入ったときの音量を設定します。
放送/入力	設定しない、地上D, BS, CS, HDMI 1, HDMI 2, ビデオから選びます。
チャンネル	地上D, BS, CSを選択した場合にチャンネル設定をします。
チャンネル名	設定したチャンネル名が表示されます。

# 番組表を使う

## 番組表を見る

### 当日から7日先までの番組表(EPG)を画面で確認することが出来ます。

<注意>画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。お買上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていたときなどは、すぐに番組表が表示されない場合があります。番組表の情報をダウンロードするには多少時間がかかることがありますのでご注意ください。

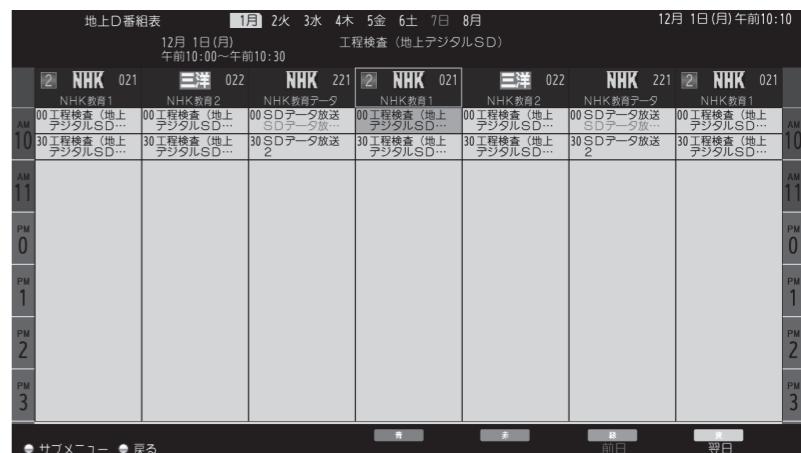
### 番組表の表示

リモコンの『番組表』ボタンを押すと番組表の画面をみることができます。もう一度『番組表』ボタンを押すか、『戻る』ボタンを押すと元の画面に戻ります。

※はじめて番組表を使うときは「番組情報がありません」と表示されることがあります。その場合は、各局を一度視聴することで、情報を取得することができます。

※番組表ボタンを押すと、その直前まで視聴していた番組が選択された番組表が表示されます。

※番組表は『▲/▼』ボタンを押すことによって見えない部分も見ることができます。



### リモコンのカラーボタンできること

緑: 前日の番組表を表示します。(現在より過去の番組表は表示しません)

黄: 翌日の番組表を表示します。

### 現在放送中の番組を見る

現在放送中の番組を見ることができます。

①『番組表』ボタンを押して番組表を表示します。『▲/▼』『◀/▶』ボタンで放送中の番組を選び、『決定』ボタンを押します。

②番組情報が表示されます。『◀/▶』ボタンで、今すぐ見るを選び、『決定』ボタンを押すと選局した番組が表示されます。

※「番組情報がありません」と表示されているときは、選ぶことができません。

# 番組表を使う

## 番組表を見る

**視聴予約** 番組表で視聴予約に設定した番組に自動で切り替えます。

①『番組表』ボタンを押して番組表を表示します。『▲/▼』『◀/▶』ボタンで視聴予約したい番組を選び、

『決定』ボタンを押します。

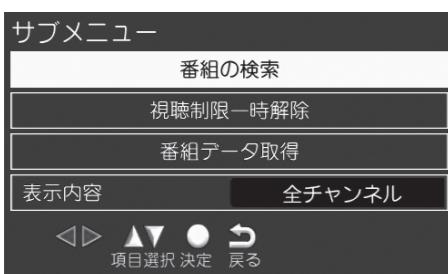
②番組情報が表示されます。『決定』ボタンを押すと視聴予約の完了です。

※視聴予約された番組は、番組枠内に アイコンを表示します。

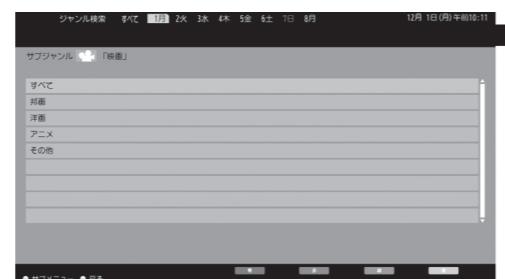
※テレビがスタンバイ状態だと予約された時刻になっても自動で電源は入りません。設定時刻になる前に電源を入れると設定した時刻に予約番組に切り換わります。

**番組検索** ジャンル一覧から番組を検索します。

①番組表の表示中にリモコンの『サブメニュー』ボタンを押し、「番組の検索」を選び、『決定』ボタンを押す。



④『▲/▼』ボタンでサブジャンルを選び、『決定』ボタンを押すと検索結果が表示されます。



※リモコンのカラーボタンでできること  
緑：前日を表示します。（現在より過去は表示できません）  
黄：翌日を表示します。（最大7日先までの表示できます）

②「ジャンル検索」を選び、『決定』ボタンを押すとメインジャンル表が表示されます。

⑤現在放送中の番組を見る場合は、『▲/▼』ボタンで番組を選び、『決定』ボタンを押し、「今すぐ見る」を選び、『決定』ボタンを押します

※視聴したい番組を予約するには、『▲/▼』ボタンで番組を選び、『決定』ボタンを押し、「視聴予約」を選び、『決定』ボタンを押します。

③『▲/▼』ボタンでジャンルを選び、『決定』ボタンを押す。

# インターネットを利用する

## インターネットを利用するための接続をする

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。

### <接続する前に>

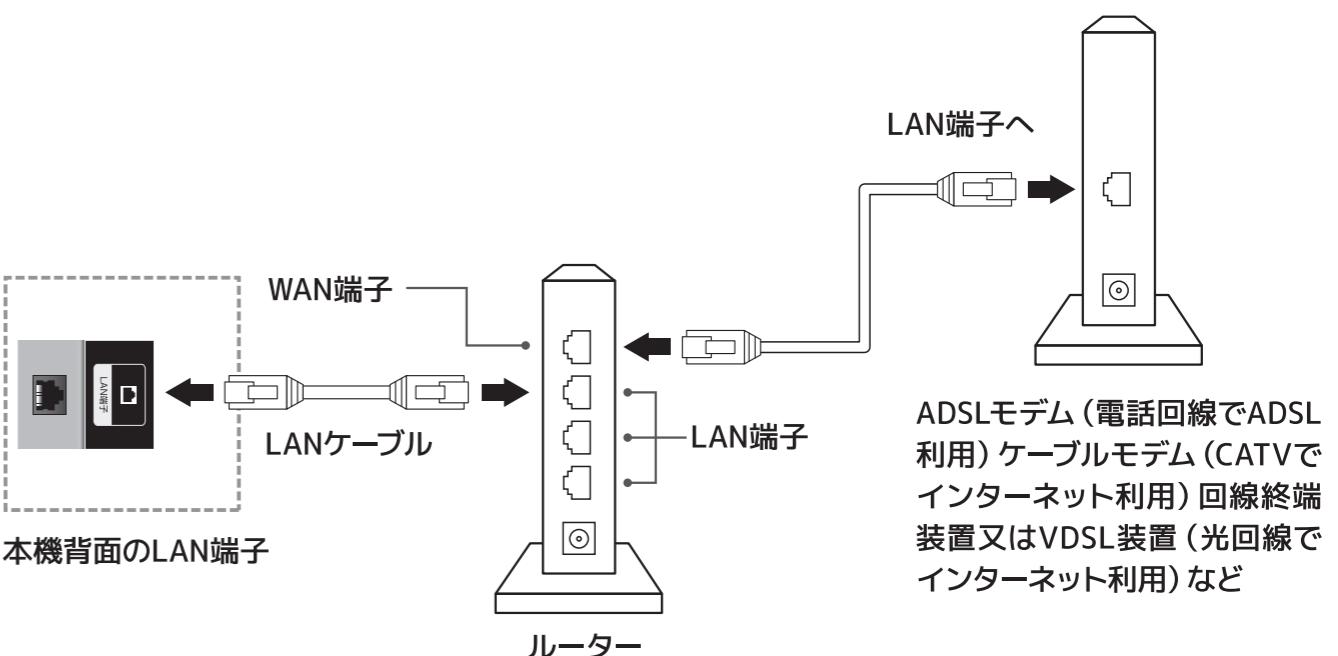
本機に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。

ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

●はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー（ネット接続業者）か通信業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。

●接続完了後、必要に応じて「ネットワーク設定」を行ってください。（P.23・24ページ）

●すでにインターネットをご利用の場合ルーターLAN端子と本機背面のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「ネットワーク設定」は必要ありません。



ADSLモード（電話回線でADSL利用）ケーブルモード（CATVでインターネット利用）回線終端装置又はVDSL装置（光回線でインターネット利用）など

# インターネットを利用する

## ネットワークを設定する

### ネットワーク接続の設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。

本機のIPアドレス初期設定は、「自動取得」となっています。

### IPアドレスが自動取得できない場合

IPアドレスの初期設定は、自動取得となっています。  
IPアドレスの自動取得ができない場合、手動設定で設定します。

※IPアドレスを「手動設定」にするとDNSアドレスも「手動設定」になります。自動取得にはできません。DNSアドレスも手動で設定してください。

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押し、設定メニューを表示します。『▲/▼』ボタンで「通信設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

2. 『▲/▼』ボタンで「ネットワーク接続」を選び、『決定』ボタンを押します。



3. 「IPアドレス」を選び、『決定』ボタンを押し、『▲/▼』ボタンで「手動設定」を選び、『決定』ボタンを押します。



4. 『▲/▼』ボタンで「IPアドレス」を選び、数字ボタンで番号を入力します。その他の項目も同じように数字ボタンで番号を入力します。  
終了するには、『終了』ボタンを押します。

# インターネットを利用する

## ネットワークを設定する

### ネットワーク状態を確認

インターネットに正しく接続されているかテストします。

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押し、設定メニューを表示します。『▲/▼』ボタンで「通信設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

2. 『▲/▼』ボタンで「ネットワーク状態」を選び、『決定』ボタンを押します。テスト結果が表示されます。

※接続に失敗した場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。(☞P.22ページ)

# データ放送を楽しむ

## dデータを使う

### <データ放送とは>

データ放送には2つの種類があります

#### ●連動データ放送

テレビ放送チャンネルで提供されているデータ放送です。

#### ●独立データ放送

地デジのGガイドや、ニュース、天気予報など、独立したチャンネルとして放送される番組です。

### <連動データ放送を楽しむ>

●一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することができます。

●テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

### <デジタル放送の双方向サービスとは>

●インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません。)

●地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

### <双方向サービスについてのお知らせ>

- 双向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- 双向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- 双向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合があるので、ご注意ください。
- 双向サービスをご利用時、通信がすぐにできず、次の操作まで時間がかかることがあります。
- テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双向サービスで、お客様のポイント等の情報が更新できないことがあります。

# データ放送を楽しむ

## dデータを使う

デジタル放送の番組視聴中に『dデータ』ボタンを押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。

リモコンの『▲/▼』『◀/▶』ボタンと『決定』ボタンで操作することができます。また、リモコンのカラーボタン『青・赤・緑・黄』で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。

(画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンで選択します。)



※各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ違いますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。

# 録画・予約/再生

## 注意事項

- ・最大64番組の録画予約が可能です。
- ・何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた等）で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。「放送メール」へ録画関連のエラーの詳細（最大14件まで保存）も届きますのでご確認ください。
- ・ビデオやHDMIなど外部入力の映像などを記録することはできません。テレビ放送のみ録画可能です。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴する事が出来ます。同機種であっても視聴できません。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどの使用や視聴はできません。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。それ以上先の録画予約はできません。日時を指定して録画予約した場合、12ヶ月先まで予約できます。
- ・同じ時間帯には1番組しか録画できません。
- ・本機ではじめて録画する場合、試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組は移動（ムーブ）や複製（コピー）をすることはできません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  - ・録画した番組を自分のホームページに載せる。
  - ・録画した番組をメールなどで他人へ送る。
  - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

## USBハードディスクについて

- ・AC電源タイプ(標準規格USB2.0)のハードディスクを使用してください。
- ・バスパワータイプのポータブルハードディスク(USB端子だけ付いているもの)は使用出来ません。
- ・Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。
- ・使用できるハードディスクの容量は4TBまでです。データ転送方式がUSB2.0以上のものをご使用ください。(USB3.0以上の規格の場合使用できないことがあります。)
- ・1つのハードディスクには約3000件の録画が可能です
- ・録画時間の目安は、500GBのハードディスクで地デジ約45時間です（番組のデータ量によって録画時間は変わります）
- ・USBハブは使用できません。
- ・本機は8台まで外付けハードディスクを登録することができます。
- ・本機には2台の外付けハードディスクを接続しておくことができますが、2台同時に録画することはできません。
- ・本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生・録画ができます。
- ・本機以外で録画をしたハードディスクの再生はできません。接続すると初期化されて、保存データが消去されます。

# 録画・予約/再生

## USBハードディスクについて

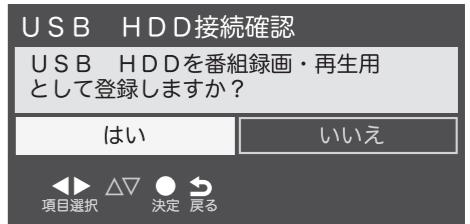
- ・初めて本機に接続するハードディスクは、まず初期化を行ってください。※データが保存されている場合は消去されますので、ご注意ください。
- ・初めて使用するハードディスクの場合、正しく初期化が行われない場合があります。その際はもう一度初期化を行ってください。
- ・ハードディスクを認識するまで、約1分間時間がかかる場合があります。
- ・USBハードディスクは信頼のにおける高品質なものをお使いください。
- ・録画を行う場合は、事前に試し録画をして正常に録画出来ることを確かめてください。
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ずれてしまう場合がありますのでご了承ください。
- ・USBハードディスクの物理的な破損や、内部データが損傷することで録画番組が再生できなくなる可能性があります。
- ・使用中（アクセス中）に本製品から取り外すと、USBハードディスクが破損し以降の録画や再生が正常に動作出来なくなる事があります。
- ・USBハードディスクを取り外す場合は、設定から「取り外し」を選択してからUSB端子を抜いてください。
- ・本機やUSBハードディスクの電源を正しく切らなかった場合、全ての録画番組が視聴できなくなる恐れがあります。
- ・物理的な衝撃（落下・重量物を本体にぶつけるなど）を与えると不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないで下さい。
- ・磁気を近づけたり、電磁波が出ていると思われる場所で使用しないでください。
- ・高温になる場所（直射日光の当たる窓際や暖房器具の傍など）で使用や放置をしないでください。故障の原因となります。
- ・録画した番組に対する保証は致しかねます。予めご了承ください。
- ・See Q Vault対応のHDDはサポートしておりません

## 機器の登録・設定

### USBハードディスクを本機に登録します。

※初めて本機に接続するUSBハードディスクは、手順に従い初期化を行ってください。初期化をしないと正常に録画出来ません。  
※初期化をすると保存されている内容は全て消去されます。※機器の登録をしないとUSBハードディスクの使用は出来ません。  
※機器の登録は最大で8件まで行うことができます。

1. 初めて登録するハードディスクの場合「USB HDD接続確認」が表示されます。「はい」を選択し『決定』ボタンを押してください。
2. 画面の内容を確認して設定を行ってください。『◀/▶』ボタンで選択し、『決定』ボタンで決定します。
3. 初期化に成功すると表示名変更画面が表示します。表示名を変更しない場合は「いいえ」を選びます。変更する場合は「はい」を選び、表示名を変更します。
4. 完了したら『戻る』ボタンを押して終了します。



# 録画・予約/再生

## USBハードディスクについて

### 機器の登録・設定

『メニュー』ボタンからハードディスクの取り外し・詳細確認・登録削除・表示名変更を行う場合

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押し、『▲/▼』ボタンで「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。



2. 「USB機器管理」を選択し、『決定』ボタンを押します。USB機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間が表示されます。

【USBハードディスクを取り外し】  
『青』ボタンを押します。

### 【機器詳細を確認】

『赤』ボタンを押します。

### 【機器の表示名を変更】

『緑』ボタンを押し、文字入力画面で入力をします。『赤』ボタンを押すと元の画面に戻ります。

### 【機器の登録を削除】

『黄』ボタンを押します。『◀/▶』ボタンで「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

3. 変更したい機器にカーソルを合わせます。

# 録画・予約/再生

## 直接録画と予約録画

### 視聴中の番組を録画する

録画したい番組を選局してリモコンの『●』録画ボタンを押します。

USB HDD (USB HDD 1) に録画します。  
録画を停止するには停止ボタンを押してください。

※録画中は電源表示ランプが点滅します。

### 番組表から番組を選択して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押し、番組表を表示させます。

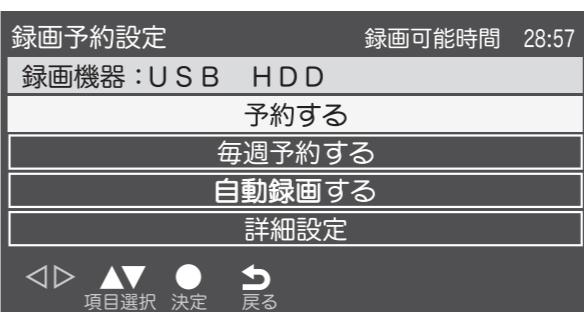
※カーソルのある番組（選択中の番組）は「青色」で表示されます。

2. 『▲/▼』『◀/▶』ボタンで録画したい番組を選び、『決定』ボタンを押します。

※番組を選び、『●』録画ボタンを押すとダイレクトに録画予約が完了します。

3. 『◀/▶』ボタンで「録画予約」を選び、『決定』ボタンを押します。

4. 録画予約設定が表示されます。「予約する」を選び、『決定』ボタンを押すと予約が完了します。



※録画予約された番組は、番組枠内に赤色の『予約』アイコンが表示します。

※予約前に必ずハードディスクの空き容量をご確認ください。

※容量が不足していると録画ができません。

※番組の変更があった場合は、予約どおりに動作しないことがあります。

※連続して複数の番組を予約されている場合は、番組の最後の部分が録画されません。

※録画を開始すると電源表示ランプが点滅します。

※録画予約と視聴予約や録画中の番組が重なった場合は録画予約が優先されます。視聴予約や録画中の番組は取り消し、または録画停止となります。

### 【予約する】

選んだ番組を1回録画します。

### 【毎週予約する】

選んだ番組と同じ時間帯の番組を毎週録画します。

### 【自動録画する】

選んだ番組と同じ時間帯の同じ番組を毎回探して録画します。

### 【詳細設定】

選んだ番組と同じ時間帯の同じ番組を毎回探して録画します。

予約方式	見るだけと録画が選べます。
その他の設定	録画番組のプロテクトで録画する番組を削除しないように保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に『■』アイコンが表示されます。
日時指定 予約へ	日時を指定して録画予約ができます。

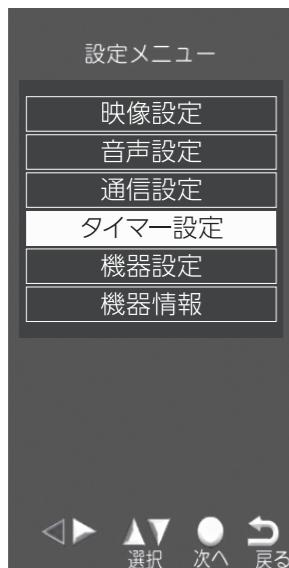
※日時指定予約は「P31録画する日時を指定して録画予約する」を参照してください。

# 録画・予約/再生

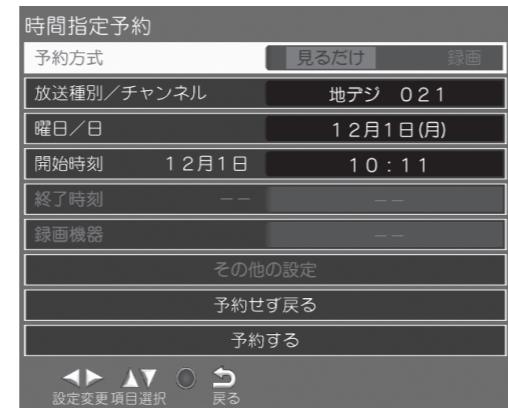
## 直接録画と予約録画

### 録画する日時を指定して録画予約する

- リモコンの『メニュー』ボタンを押し、設定メニューを表示します。



- 『▲/▼』ボタンで「タイマー設定」を選び、『決定』ボタンを押します。



- 『▲/▼』ボタンで「日時指定予約」を選び、『決定』ボタンを押し、時間指定予約を表示します。

- 『▲/▼』ボタンで「予約する」を選び、『決定』ボタンを押すと、「予約が完了しました。」と表示されます。『決定』ボタンを押すと予約が完了します。

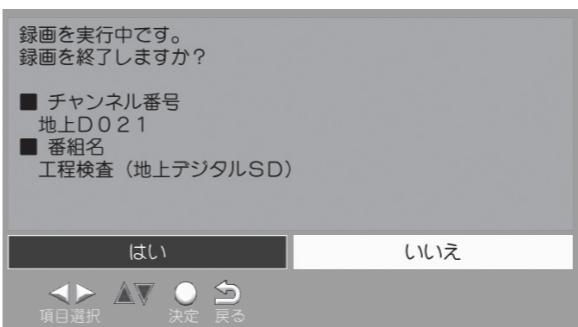
※予約をせず戻るには、「予約をせず戻る」を選び、『決定』ボタンを押してください。  
※予約の確認や取り消しについては、録画予約の設定の変更、予約の確認・変更・取消をするをご覧ください。

# 録画・予約/再生

## 直接録画と予約録画

### 録画停止

録画中にリモコンの『■』ボタンを押すと録画停止メッセージが表示されます。「はい」を選び、『決定』ボタンを押すと、その時点までの録画が保存され録画が停止します。



### 録画予約の変更

- リモコンの『番組表』ボタンを押し、『▲/▼』『◀/▶』ボタンで録画予約した番組を選び、『決定』ボタンを押します。

※録画予約した番組には **予** と表示があります。

- 『◀/▶』ボタンで「設定変更」を選び、『決定』ボタンを押します。

※予約削除を選ぶと予約を取り消すことができます。

- 『▲/▼』ボタンで「詳細設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

- 『▲/▼』ボタンで変更したい項目を選び、『◀/▶』ボタンで詳細変更をします。

予約方式	「見るだけ」と「録画」が選べます。
録画機器	録画先のハードディスクを表示します。録画先を変更する場合は、予約リストから予約一覧を表示して、サブメニューから行ってください。
その他の設定	録画番組のプロテクトで録画する番組を削除しないように保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に <b>■</b> アイコンが表示されます。
日時指定予約へ	日時を指定して録画予約ができます。

- 変更が終わったら『戻る』ボタンを押し、『▲/▼』ボタンで「修正する」を選び、『決定』ボタンを押すと「予約を修正しました。」と表示され変更が完了します。

# 録画・予約/再生

## 直接録画と予約録画

### 予約の確認・変更・取り消し

- リモコンの『予約リスト』ボタンを押すと予約一覧が表示されます。
- 『▲/▼』ボタンで予約確認をする番組を選び、『決定』ボタンを押します。

※『黄』ボタンからも予約の「削除/取り消し」ができます。

- 『◀/▶』ボタンで変更する項目を選び、『決定』ボタンを押します。

・設定変更：予約の設定変更をします。

※詳しくは録画予約の変更をご覧ください。

・予約削除：予約を取り消します。

- 「設定変更」を選んだ場合は、各項目を変更後、『▲/▼』ボタンで「修正する」を選び、『決定』ボタンを押し、終了してください。

### 録画予約できない場合

下記の場合には予約録画ができません。

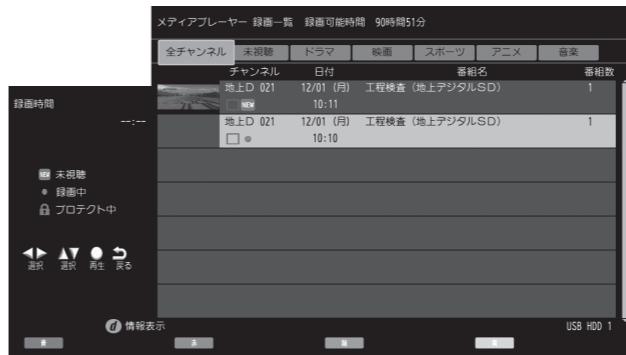
- 予約日時を過去に設定した場合。
- 予約時間が重複している場合。
- 録画時間が外部記録メディアの容量を超える場合。
- 短い番組（約1~3分以下の番組）。
- 受信レベルが低下している場合。
- 番組が延長した場合。
- 予約開始時に録画設定した記録ハードディスクが接続されていない場合。

# 録画・予約/再生

## 録画の再生と削除

### 録画した番組を見る

- リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。録画一覧が表示されます。



### 表示アイコン

NEW	未視聴の番組
●	録画中の番組
■	プロテクト中の番組

※ハードディスクを切り換えるには、録画一覧画面で『サブメニュー』ボタンを押し、「USB HDD選択」を選び、『決定』ボタンを押します。『▲/▼』ボタンでハードディスクを選び、『決定』ボタンを押します。

※録画一覧には、かんたんな情報が表示されます。

### チャプター一覧

- 『緑』ボタンを押すと録画した番組のチャプター一覧を表示します。  
『◀/▶』ボタンで、「チャプター」を選択し『決定』ボタンを押すと、そこから再生します。

- 『▲/▼』ボタンで見たい番組を選び、『決定』ボタンを押すと再生が始まります。

※「どこから再生しますか？」と表示されたら『◀/▶』ボタンで「続きから再生」または「最初から再生」を選び、『決定』ボタンを押します。続きからまたは最初から再生が始まります。（再生されるまで時間がかかる場合があります。）

# 録画・予約/再生

## 録画の再生と削除

### 再生時のリモコン操作

下記の操作ができます。

ボタン	内容
▶	再生/一時停止：再生中に一時停止と再生を切り替えます。早戻し/早送り状態から2回押すと通常再生に戻ります。
■	停止：再生を停止します。録画一覧に戻ります。
◀	早戻し：押すたびに速さが変わり再生をします。
▶	早送り：押すたびに速さが変わり再生をします。
◀	前へ：前の録画データを再生します。
▶	次へ：次の録画データを再生します。
録画リスト	再生中に押すと録画一覧に戻ります。

※録画中も録画した番組の再生が可能です。  
※再生中は番組表などの一部の操作をすることができません。  
※番組の最後まで再生が終わると録画一覧に戻ります。  
※番組開始時刻から録画を開始するため、冒頭部約1秒程度、録画されない仕様です。  
※早戻し・早送り中は音声が再生されません。  
※録画番組を時間指定して再生する機能はありません。

### 録画リストの確認と削除

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押し、録画一覧から削除したい番組を選択します。
2. 『黄』ボタンを押し、「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

### 録画リストを複数選択して削除

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押し、録画一覧を表示します。
2. 『▲/▼』ボタンで削除する番組を選び、『青』ボタンを押します。更に削除したい番組を同じ操作で選択します。  
※選んだ番組にはチェックボックスにチェックが入ります。
3. 『黄』ボタンを押し、「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

# 録画・予約/再生

## 録画の再生と削除

### 録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中にサブメニューボタンを押すと次のことができます。



### タイムシフト再生

録画中の番組を、最初から再生したり、途中で一時停止したりして観賞を楽しむことができます。

1. 録画中に、リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
2. 録画中の番組には、番組名の前にオレンジ色の●マークが付きます。カーソルを合わせて、『決定』ボタンを押すと再生が開始します。

※録画開始後30秒後からタイムシフト再生が可能です。

### 【録画一覧へ戻るには】

1. リモコンの『■』ボタンを押して録画一覧画面へ戻ります。
2. リモコンの『戻る』ボタンを押すと、録画中の画面へ戻ります。

USB HDD選択	録画一覧を表示するハードディスクを切り換えることができます。
視聴制限一時解除	視聴制限を一時的に解除することができます。
プロジェクト設定変更	録画した番組のプロジェクト設定を変更することができます。
番組名編集	録画した番組の番組名を編集することができます。

# 設定メニュー

メニューボタンで出来ること

『メニュー』ボタンを押すと設定メニューが表示されます。ここから各種設定を変更することができます。

## 基本的な操作

設定メニューの操作方法は、基本的に以下の操作方法で行います。

**1.** リモコンの『メニュー』ボタンを押すと設定メニュー画面が表示されます。

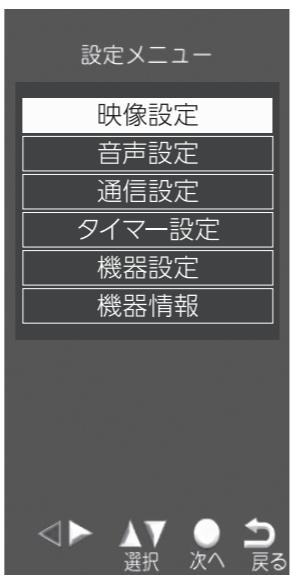
**2.** 『▲/▼』ボタンで項目を選び、『決定』ボタンを押す。

**3.** 『▲/▼』ボタンまたは『◀/▶』ボタンを押し、項目を選び、『決定』ボタンを押す。

**4.** 1つ前のメニューに戻るには『戻る』ボタンを押す。

※メニュー画面を表示したまま一定の時間が経過すると自動的にメニュー表示が消えます。

**5.** 終了するには、『戻る』ボタンを押すか、『終了』ボタンを押します。



設定メニュー	設定項目	説明
映像設定 ※映像に関する設定をします。	画質動作選択	映像モードを切り換えます。
	画面の明るさ	バックライトの明るさを調整します。
	周囲の明るさ	コントラストの調整をします。
	暗部調整	夜の場面などを見やすく調整します。
	色の濃淡	色の濃さを調整します。
	色あい	色あいを調整します。
	輪郭強調	シャープネスを調整します。
	色温度	室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。

次のページへつづく➡

# 設定メニュー

メニューボタンで出来ること

設定メニュー	設定項目	説明
映像設定	動的コントラスト	暗い画面で光量を小さくする調整をします。 ※動的コントラストがオンのときは明るいシーンや暗いシーンでバックライトを調整しても変化が少ない場合があります。
	ノイズ低減	デジタル放送特有のノイズなどを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
	MPEGノイズ低減	DVDやハードディスクレコーダーの映像などに出やすいノイズを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
	高度な設定	入を選ぶと、詳細調整ができるようになります。 ※映像モードで鮮やかまたは標準を選んでいるときは、調整できません。
	詳細調整	“高度な設定”で入を選ぶと、調整できるようになります。 映画を楽しめるシネマリティのオン、オフを設定します。 ※映像モードで鮮やかまたは標準を選んでいるときは、調整できません。
	シネマ設定	映画を楽しめるシネマリティのオン、オフを設定します。 ※シネマリティは1081i, 480i信号の場合のみ設定できます。 ※シネマリティの設定値は、以下の放送および入力信号ごとに記憶されます。地上デジタル、BS/CSデジタル放送、ビデオ入力、HDMI入力
	画面の設定	画面のサイズや位置などを調整します。
	調整の初期化	映像設定で変更した項目を工場出荷時の状態（初期状態）に戻します。
音声設定	音声調整	あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。
	低音	低音を調整します。
	高音	高音を調整します。
	イコライザー	イコライザーを調整します。 ※音声調整を任意設定に設定したときだけ有効になります。 ※音声出力端子（ヘッドホン）からの音声には反映されません。
	バランス	左右の音声出力のバランスを調整します。
	サラウンド	音声がステレオの場合に広がり感を持ったサラウンドで再生します。
	ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を設定します。 ※出荷時は25に設定されています。※テレビの音声出力と音声出力端子（ヘッドホン）の出力の比率を調整する機能です。本体の音量を調節すると、ヘッドホンの音量も変化します。
	音量自動調整	音量自動調整のオン、オフの切り替えをします。
	入力音量補正	外部入力の音量を調整します。
	デジタル音声出力	光デジタル音声やHDMI2(ARC対応)から出力する音声信号を設定します。 ※MPEG-2/AACデコーダーやデコーダー内蔵アンプに出力するときは自動またはビットストリームを選んでください。

次のページへつづく➡

# 設定メニュー

メニューボタンで出来ること

設定メニュー	設定項目	説明
音声設定 ※音声に関する設定をします。	音声同時出力	「する」に設定すると音声出力(ヘッドホン)とテレビのスピーカー両方から音声を出力する設定をします。「しない」に設定すると音声出力端子にヘッドホンプラグを差し込むと、本体のスピーカーから音声は出ません。 ※音声同時出力をするとリモコンの「音量」で調整はできません。ヘッドホン音量で調整してください。
	調整の初期化	音声設定で変更した項目を工場出荷時の状態（初期状態）に戻します。
通信設定 ※ネットワークに関する設定をします。	ネットワーク接続	各種ネットワーク設定を行います。
	ネットワーク状態	ネットワーク接続確認を行います。
タイマー設定 ※タイマーの設定や電源の入、切の設定をします。	日時指定予約	録画する日時を指定して予約します。
	オンタイマー	設定した時刻に本機の電源をいれることができます。
	無操作電源オフ	約4時間以上、間無操作状態が続くと自動で電源を切れます。 ※モニターとして使用するときは、切に設定してください。
	無信号電源オフ	外部入力選択中に約10分間無信号状態が続くと自動で電源が切れます。
機器設定 ※本機に関する設定をします。	USB 機器管理	USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。
	録画設定	録画をするときの設定をします。
	視聴制限設定	視聴年齢の制限を設定します。
	表示の設定	字幕の日本語/英語表示を切り替えます。
	HDMI 設定	HDMIの設定をします。
	かんたん設定	引っ越しなどでお住いの地域が変わったときなどにかんたん設定を行います。
	設置設定	本機を設置するときに設定します。
	システム設定	B-CAS情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。
	その他の設定	文字入力や選局対象（番組表の表示⇒とる）を設定します。
機器情報 ※本機のID情報を表示します。	ID 表示	この機器のID情報を表示します。

# 機器設定

映像設定

## 詳細調整

“高度な設定”で入を選ぶと、調整できるようになります。

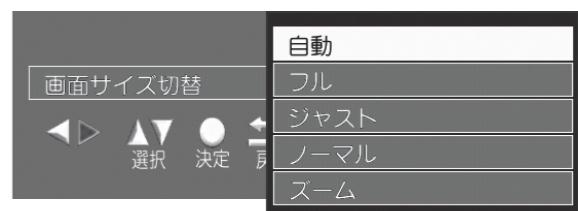


※映像モードで鮮やかまたは標準を選んでいるときは、調整できません。

設定項目	設定内容
黒伸長	ばらつきの多い黒レベルを一定にそろえます。0～15 の間で調整します。
ホワイトバランス	RGBそれぞれのゲインとそれぞれのカットオフを-50～+50 の間で微調整します。
ガンマ設定	映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを1.8/2.0/2.2/2.4/2.6までの5段階から調整します。
調整の初期化	詳細調整で変更した項目を工場出荷時の状態（初期状態）に戻します。

## 画面の設定 / 画面サイズ切替

映像設定→画面の設定→画面サイズ切替⇒『決定』ボタンを押します。



設定項目	設定内容
自動	放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り替えます。画面サイズが変わり見にくくなるときは、手動で画面モードを選んでください。
フル	16:9の映像をそのままのアスペクト比で表示します。
ジャスト	4:3の映像を画面サイズに合わせて拡大します。
ノーマル	4:3の映像をオリジナルのまま表示します。
ズーム	上下左右に黒い部分のある映像を画面いっぱいに表示します。 
サイドカットフル	サイドカットした映像をフルで表示します。 
サイドカットジャスト	サイドカットした映像の左右の拡大率を多くし、違和感のない映像に拡大します。 
サイドカットズーム	サイドカットした映像を画面いっぱいに拡大します。 

## 映像設定

### 画面の設定 / オーバースキャン

映像の周辺部が映らないようカットする機能です。

### 画面の設定 / 両横ノイズカット

画面両横に見られる映像ノイズを調整します。

### 画面の設定 / 垂直位置 / 大きさ

画面の表示位置や大きさを調整します。

※画面サイズ切替が、自動、フル、ノーマル、サイドカットフルの場合は、調整できません。

※映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1. 映像設定⇒画面の設定⇒垂直位置/大きさ⇒『決定』ボタンを押します。

2. 『▲/▼』ボタンで垂直位置を変更します。『◀/▶』ボタンで画面サイズを調整します。

3. 終了するには『戻る』ボタンを押します。

### 画面の設定 / 4:3映像設定

4:3映像の画面をノーマル、ジャストから選び設定します。

## 音声設定

### 音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

設定項目	設定内容
標準	どんなシーンにも合う一般的な設定です。
音楽	音楽シーンに適した設定です。
会話	人の声が聞き取りやすくなる設定です。
任意設定	お好みの音質に調整できます。

### デジタル音声出力

光デジタル音声やHDMI2(ARC対応)から出力する音声信号を設定します。

※MPEG-2/AAC デコーダーやデコーダー内蔵アンプに出力するときは自動またはビットストリームを選んでください。

設定項目	設定内容
自動	MPEG-2/AACまたはドルビーデジタル対応の機器に接続する場合に設定します。それ以外のものはPCMに変換して出力します。
PCM	MPEG-2/AACまたはドルビーデジタルに対応していない機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
ビットストリーム	MPEG-2/AACまたはドルビーデジタルの信号がそのまま出力します。

# 機器設定

## 機器設定

### 録画設定

録画をするときの設定をします。

設定項目	設定内容
自動予約	録画予約した番組を次回放送も自動で録画予約するかどうか設定します。オン, オフで設定します。
録画ボタン設定	『●』ボタンを押して録画を開始したときの録画終了時間を「番組終了/3時間録画」から設定します。
オートチャプター	録画一覧で表示するチャプターを自動で作成するかを設定します。オン, オフで設定します。
USB HDD待機	USB機器を待機状態にするかを設定します。オン, オフで設定します。



3. 『▲/▼』ボタンで視聴年齢制限設定を選び、『決定』ボタンで年齢一覧を表示し、『▲/▼』ボタンで年齢を選び、『決定』ボタンを押します。  
年齢は4才～19才の範囲と無制限があります。

### 視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されていることがあります。視聴年齢制限のある番組を視聴するには、暗証番号を設定し、以下の設定も行う必要があります。

1. 機器設定⇒視聴制限設定を選び『決定』ボタンを押します。暗証番号入力画面が表示されます。

2. 『数字』ボタンで暗証番号を入力します。

※初めて使用するときは、新しい暗証番号を入力します。

### 視聴制限設定 / 暗証番号の設定・変更

※初めて使用するときは、新しい暗証番号の入力が求められます。  
※既に暗証番号が設定されている場合は、設定してある暗証番号の入力を求められます。

1. 機器設定⇒視聴制限設定⇒暗証番号の入力を行う。視聴制限設定画面が表示します。

2. 暗証番号設定を選び、『決定』ボタンを押します。

3. 数字ボタンで新しい暗証番号を入力します。確認のため、もう一度新しい暗証番号を入力すると新しい暗証番号が設定され視聴制限設定画面に戻ります。

# 機器設定

## 機器設定

### 視聴制限設定/暗証番号の削除

※初めて使用するときは、新しい暗証番号の入力が求められます。  
※既に暗証番号が設定されている場合は、設定してある暗証番号の入力を求められます。

1. 機器設定⇒視聴制限設定⇒暗証番号の入力を行う。視聴制限設定画面が表示します。
2. 『▲/▼』ボタンで暗証番号削除を選び、『決定』ボタンを押すと暗証番号削除確認が表示されます。
3. 『◀/▶』ボタンで「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

設定項目	設定内容
字幕	字幕のオン, オフを設定します。
字幕言語	日本語/英語を設定します。
文字スーパー	文字スーパーのオン, オフを設定します。
文字スーパー言語	文字スーパー言語の日本語/英語を設定します。

### 表示の設定/入力表示

入力切換をするときに、使用していない入力をスキップしたり、接続機器の種類を表示させたりできます。

1. 機器設定⇒表示の設定⇒入力表示 ⇒HDMI1⇒『決定』ボタンで一覧を表示し、『▲/▼』ボタンで選び、『決定』ボタンを押す。

入力表示	ビデオ
HDMI 1	HD 使用しない(スキップ)
HDMI 2	HD ブルーレイ
ビデオ	ビデオ レコーダー
◀▶	選択
△▽	決定
○	戻る

【表示できる項目】  
HDMI1・HDMI2・ビデオ・使用しない(スキップ)・ブルーレイ・DVD・レコーダー・ゲーム・CATV・チューナー・表示なし

### 表示の設定 / 字幕の設定

日本語 / 英語表示を切り替えます。

1. 機器設定⇒表示の設定⇒字幕の設定⇒字幕⇒『決定』ボタンでオン, オフを選び、『決定』ボタンを押す。
2. 同じ要領で、字幕言語、文字スーパー、文字スーパー言語を設定します。

字幕の設定	
字幕	オン
字幕言語	オフ
文字スーパー	オフ
文字スーパー言語	日本語

### 表示の設定/タイトル表示

画面表示ボタンを押したときに番組タイトルを表示するかを設定します。

# 機器設定

## 機器設定

### 表示の設定/時計表示

画面下に時計を表示するかを設定します。

### HDMI設定

設定項目	設定内容
HDMI連動	HDMI接続されている機器との各種連動制御を使用するか、しないかを設定します。オン、オフで設定します。
電源入連動	連動機器の電源を入れた際、本機の電源が自動的にになります。オン、オフで設定します。
電源切連動	本機の電源を切った際、連動機器の電源を自動的に切れます。オン、オフで設定します。
自動切	使用していない機器の電源を自動で切れます。オン、オフで設定します。
レコーダ操作	接続した機器の操作をするときに設定します。拡大を選ぶと接続機器の種類に応じて操作に有効なボタンが追加されます。

※接続した機器がCEC機能に対応しており、かつCEC機能をオンに設定した時の機能します。

※接続した機器側の設定も必要です。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご確認ください。

※全ての機器に対して本機能を保証できません。機器によっては連動機能が使えない機種もございます。

※自動オフはレコーダーとデジタルSTBに対応していますが、CEC機能により動作しない場合があります。

### 設置設定

本機を設置するときに設定します。

設定項目	設定内容
受信対象設定	BS・CSを使用するときに設定します。使う、使わないで設定します。
チャンネル設定	自動でチャンネル割り当てされたチャンネルをお好みで変えたりするときに設定します。地上デジタル、BS、CSから設定します。※P.45を参照ください。
地域設定	お住まいの地域と郵便番号を設定します。データ放送で地域の情報を受信するための設定をします。
受信設定	地上デジタル放送と衛星放送のチャンネル受信レベルを調べます。アンテナの方向を調整する場合はP.16を参照ください。
高速スタート	電源を入れたときの画像が映るまでの時間を短縮することができます。
B-CASテスト	B-CASカードのテストをします。

### 設置設定/チャンネル設定/地上デジタル

設定項目	設定内容
初期スキャン	地上デジタル放送のチャンネル設定をします。画面の指示に従い操作をします。
再スキャン	受信状況が変わったときなどに、受信できる放送局を追加します。
マニュアル	初期スキャンや再スキャンで割り当てられたチャンネルをお好みのチャンネルに変えたいときに設定します。

### マニュアル

※P.45を参照ください。  
※地上デジタルチャンネル設定でご説明します。  
※BS/CSも同じ要領で設定します。  
※録画中は設定できません。

1. 機器設定⇒設置設定⇒チャンネル設定⇒地上デジタル⇒マニュアル⇒『決定』ボタンで、地上デジタルチャンネル一覧を表示します。



2. 『縁』ボタン（入換）を押し、『▲/▼』ボタンで変更したいリモコンの番号を選び、『決定』ボタンを押します。

3. 『▲/▼』ボタンで変更先番号を選び、『決定』ボタンを押します。

### システム設定

B-CAS情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

設定項目	設定内容
設定情報リセット	本機を廃棄されるときなど、記録されている情報を全て削除します。※初期化を行うと初期化前の状態に戻すことはできません。
放送メール	放送局からのお知らせや、本機からのお知らせを表示します。
B-CAS情報	B-CASカードの識別番号などを表示します。
CSボード	110度CSデジタル放送から視聴者に向けたお知らせです。
ライセンス情報	本機のライセンス情報を表示します。
ルート証明書	データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

### その他の設定

設定項目	設定内容		
文字入力設定 ※文字入力の方法を設定します。	リモコンボタン	リモコンの数字ボタンを使い入力します。	入力方法
	画面キーボード	画面に表示されるキーボードで入力します。	変換方式
	通常方式	入力した後、変換候補を表示するときに選びます。	
	予測方式	自動的に変換候補を表示します。	
選局対象	設定チャンネル	チャンネル設定で設定したチャンネル	
※選局対象を設定チャンネル、テレビのみ、全チャネルから選びます。	テレビのみ	テレビ放送（映像+音声）のチャンネル	
	全チャンネル	現在放送されているすべてのチャンネル	

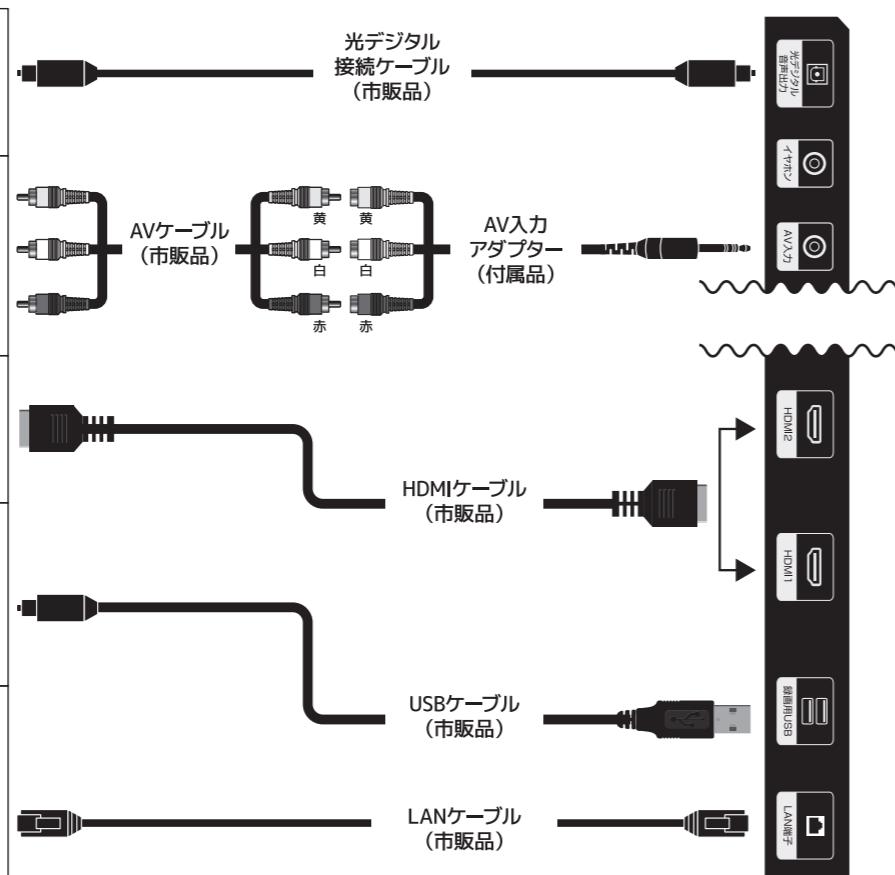
# 外部機器と接続する

## 接続のしかた

### <接続する前に>

本機に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。  
接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

AVアンプなどのデジタルオーディオ機器	
ビデオ/DVDレコーダーなどの外部機器	
HDMI端子付機器	
電源供給型のハードディスク 市販品一標準規格 USB2.0	
ルーター	



## 接続について

### ビデオ (AVケーブル) で接続する

●対応している規格はNTSCです。合わないものについては視聴できないことがあります。

### HDMIケーブルで接続する

●HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。●HDMI機器との相性により音声が出ない場合があります。  
●当製品のHDMIバージョンは「1.3」です。機器間のリンク機能には対応しておりません。●ARC対応の機器を接続する場合はARCケーブルをご使用ください。ARCはHDMI2ポートのみ対応しています。●CECはHDMI1ポートのみ対応しています。●CEC/ARC共に全ての動作を保証するものではありません。

### USB/ハードディスクを接続する

●P.27~29ページの「注意事項」「USB/ハードディスクについて」をよくお読みになってから接続使用してください。●「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら、各種設定から各設定を行ってください。●取り外す場合は、必ず「設定メニュー」内にある「機器設定⇒USB機器管理⇒青ボタン(取り外し)」から取り外してください。

# その他

## その他の情報

液晶パネルについて	液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
画像の残像について	静止画を長時間表示された場合などに、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。
廃棄方法について	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品を廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。</li><li>・家電リサイクル法では、お客様がご使用済のテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。</li><li>・mini B-CASカードは破棄せずに（株）ビース・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。</li></ul>
EWS（緊急警報放送）について	<p>EWS（緊急警報放送）とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。</p> <p>人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。</li><li>2) 津波警報が発せられた場合。</li><li>3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。</li></ol> <p>・本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応していません。</p> <p>・地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えて表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は「戻る」ボタンを押してください。</p>
アナログ放送について	本機はアナログ放送（地上/衛星/CATV）については視聴できません。
HDMI連動機能について	P.45 HDMI連動設定をご参照ください。

※記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。

※記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

# 故障かも・・・と思ったら

故障かも  
・  
・  
・  
と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	P.14
	異なる外部入力モードになっている。	入力切換ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.18
電源が入っているのに画面に何も映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面から機器設定の初期スキャンを行ってください。	P.45
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。	P.14
突然電源が切れる	オフタイマーが動作している。	オフタイマーをオフにしてください。	P.19
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整して受信レベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1 受信レベルはアンテナ設定から確認できます。	P.16
地上デジタル・BS・CS放送が映らない	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面から再スキャンを行ってください。	P.45
	ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。	ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れことがあります。天候が回復するまでお待ちください。	—
	アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	アンテナ線の接続を確認してください。	P.13
特定のチャンネルが映らない	受信感度が良くない。	再スキャンをおこなってください。	P.45
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整して受信レベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16
音声は出るが映像が出ない	映像設定の調整が悪い。	設定メニューから映像設定の調整をしてください。	P.41
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.47
音声が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。	P.18
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。	P.18
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.47

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

# 故障かも・・・と思ったら

故障かも  
・  
・  
・  
と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。 画面の視野角から外れている。 他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。 悪天候などにより受信感度が落ちている。	アンテナの角度を調整して受信レベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1 受信レベルはアンテナ設定から確認できます。 視野角の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。 妨害を受けているものから離してご使用ください。 天候の影響により、映像が乱れことがあります。天候が変わるものまでお待ちください。	P.16 — — —
画面の色がおかしい	「映像設定」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の調整をしてください。	P.37
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の「明るさ」の調整をしてください。	P.37
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。 電池が消耗している。 リモコン受信部近くに障害物がある。 リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっている。 テレビ本体が操作不能になっている。	電池の+ - を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。 2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。 受信部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内（左右30度、上下15度まで）で使用ください。 受信部を強い光から離してください。 一度プラグをコンセントから抜いて、再度電源をいれてください。	P.9 — — — — P.13
番組表に何も表示されない	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。（電波状況により時間がかかる場合があります）	P.20
選局できない番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。 チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	スキップ設定からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。 受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。	P.44 —
インターネットに接続できない	正しく設定されていない。 正しく通信できていない。	お客様のネットワーク環境をご確認ください。	P.22~24
	画面に黒い点が（点灯しない点）または輝点（光る点）が見える	液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。	—
予約録画したはずの番組が録画リストにない	容量不足。 録画時の受信状況が悪かった。 番組情報が取得できていなかった。 内蔵ハードディスクの登録解除や取外しを行った。 録画できない映像だった。	USB / ハードディスクの容量を確認してください。 アンテナ設定にて受信感度を確認してください。 番組情報を取得してから予約録画をしてください。 再登録を行ってください。 コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組。外部入力からの映像・音声は録画できません。	P.30 P.16 P.20 P.27~29 —

# 故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
録画した番組が再生できない	本機以外で再生しようとした。	本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。	P.27
ハードディスクが認識されない	ハードディスクの登録解除や取外しを行った。	再登録を行ってください。	P27~29

※初期化をすると、保存された番組は消去されます。予めご注意ください。

※本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。

※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。

※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

# アフターサービスとお問い合わせ

修理を依頼される前にP49~51ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

## 保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。※本機を分解すると、保証が無効になります。

## 修理をご依頼される場合

修理を依頼される前にP49~51ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

※ご購入時の梱包箱で梱包してください。また箱がない場合にはお客様で梱包用の箱をご用意いただき緩衝材を利用するなど輸送時に破損しないよう梱包をしてください。

※輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包をしてください。

## 修理をご依頼されるときにご準備いただきたい内容

- ・お客様の氏名/住所/電話番号
- ・製品名/型番/お買上げ日/お買上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

※梱包箱についてお願い：修理が必要となった場合はこちらの箱に入れていただき修理センターまでお送りいただくことになります。当梱包箱は捨てないようご注意ください。

## 本製品に関するお問合せおよび修理に関するお問合せ

株式会社グランプレ【カスタマーサポート】

 **0570-020-511** (平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)

[HP] <http://www.granple.co.jp> [メール] [support@granple.co.jp](mailto:support@granple.co.jp)

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6階

【修理センター】※発送前に必ず上記カスタマーサポートへご連絡下さい

〒198-0042 東京都青梅市東青梅3-23-10 サンシャインメゾン1階 株式会社コアメイトジャパン サポートセンター

# 製品仕様

品名	32V型 ダブルチューナー搭載 地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ
テレビチューナー	ISDB-T/BS/CS
パネルサイズ	31.5inch 32V型
解像度	1366x768
輝度	180±10% cd/m <sup>2</sup>
コントラスト比	5000:1
応答速度	20ms
アスペクト比	16:9
視野角(標準値)	水平178°垂直178°
スピーカー出力	5W×2
入力端子	HDMI入力端子×2、AV入力端子(専用3.5mm4極ミニジャック)、アンテナ入力端子(F型)×2、録画専用USB端子×2、有線LAN端子
出力端子	光デジタル音声出力端子、イヤホン出力端子
定格電圧	100V
消費電力	50W
STANDBY消費電力	≤0.5W
年間消費電力	64kwh/年
区分名	DN1
使用環境	温度:-5°C-45°C(結露なきこと) / 湿度:80%以下(結露なきこと)
本体寸法	約W726xD191xH480(スタンド付)
本体重量	約3.9kg
付属品	取扱説明書、保証書、リモコン用単4乾電池×2、リモコン、買って観るまでガイド、mini B-CASカード、スタンド×2、取付用ねじ×4、AV入力アダプター